

意見・要望等

※ ○～プラス評価の内容、 △～検討が必要な内容や意見・要望

生徒

- 明るくて温かみのある学校生活を送ることができる学校だと思った。
- 学校が近く、環境がとてもいいし、制服がかわいい。
- 人数が少ない（定員より）ので先生方の目が生徒に行き届いていると思う。
- 他の学校ではできない体験ができる。
- 明るい学校で、行事がすごく楽しくできた。
- 知りたいことを学べて楽しい。学校生活を楽しく過ごせている。
- 先生方がやさしく気さくで話しやすい。分かりやすい授業で、指導が充実している。
- 新しい友達に出会え、友達がたくさんできた。
- 部活が楽しい。いい先輩に出会って優しくも厳しくも指導してもらえて良かった。
- たくさんの資格を取ることができる。たくさんのことが学べる。将来に必要なことを学べる。
- 科を問わず色々な職業を選択できる。
- 少人数で勉強ができる。人数が少ない分、勉強の分からないところを聞きやすい。
- △あまり楽しめなかった。自分の性格上合わないと思った。
- △変に厳しくする必要はない。変に厳しくするから反発したくなる。
- △生徒数が少ない。生徒を増やしてほしい。
- △学校の見た目をよくするために、掃除を頑張ればいいと思う
- △全校集会などの時にすぐに静かにならない。
- △もう少し部活動の活動を活発にするべきだと思う。
- △エアコンの温度を夏は下げ、冬は上げてほしい。

保護者

- 子どもが毎日楽しく学校に行っているので入学させてよかった。
- 学校生活や授業など楽しそうにしている。落ち着いて学習できてよかった。
- 先生と生徒とのコミュニケーションがとれており学校生活が充実できている。
- 子どもが学校が楽しいと言っているので良かったと思う。生徒もあいさつがしっかりできると思う。
- 学びたかった学科を確実に身につけてきているので良かった。
- 子供が学校での出来事や友人の話などしてくれることが良かった。
- 落ち着いた環境で、クラスの人数は少ないが、皆仲が良く、思いやりがあった。
- 親身に相談にのってくださる先生方が多く、生徒の希望の進路が叶うように、よく指導して下さった。
- 学校生活の中で担任の先生や各学科の先生、友達に恵まれて楽しく3年間部活と勉強の両立ができた。
- 資格を取得でき、希望する就職先に内定したことが良かった。
- 少人数のおかげで、運動会等の行事もみんな活躍できて親も見ていて楽しかった。
- 子供の好きなことを伸ばすことが出来た。
- 先生と生徒とのコミュニケーションがとれており学校生活が充実できている。
- もうすぐ卒業ですが、子供に合った学校でした。（のんびり温和な感じ）
- 子供のちょっとした変化に気づき心配されて連絡をくださったたり、声かけやアドバイスに感謝している。
- △もう少し文化系の部活にも力を入れてほしい。
- △もう少し家庭での勉強に取り組むことができれば良かった。
- △協調性のない行動をとる生徒もいるようで、残念に思う。
- △他の学科の生徒と一緒に（体育など）をしないといけないので、うちの子には良くなかった。
- △靴下は学校指定のものでなくてもいいのではないかな。買おうと思って売ってなかったりすることもある。
- △單車通学生の指導の徹底。鞆を足下に置いて運転してふらついていることがあった。
- △バイク通学の女子のスカートにズボンははいているのは見苦しい。
- △最低限のモラルやルールも守れない生徒への指導強化。もう少し他の生徒の事も考えられる体制にしてほしい。
- △中学生の頃のような行動は見直すように教育をしてほしい。
- △正門前の駐車場、進入禁止の看板が気づきにくいので、看板の位置を見直し改善してほしい。
- △駐車場路面についてもアスファルト陥没していたり、雨の水たまりでできているので、砂利でも入れていただきたい。
- △学校全体の平均値向上、校風をよくすることが、学校に学生を増やし活気をもたらす。

職員

- 教科内で連携し、話し合いながら授業を進めているので統一感があり、充実した指導ができている。
- 生徒が素直で優しい子が多い。
- 各学科の特異性を活かした教育活動が行われていて良い。
- それぞれの科に特徴があって、1人1人が興味関心をもてる授業を受けられる。生徒が素直でよい。
- △学科どうしの連携が足りない。職員のまとまり強化。
- △あいさつをしっかりできるようになるとなお良い。
- △生徒は素直だが元気がない。リーダーがいらない。
- △普通科の魅力が足りない。少人数指導ができる良さをもっと利用したりアピールしたりするべき。
- △新入生の質を上げるべき！定員不足でも。
- △一部の生徒であるがモラルやマナーが身につけていないことは残念。社会に通用する健全な社会人を育てたい。
- △特別な支援（学習障がい等）が必要な生徒への手立て（授業にT・Tで入る、朝自習や放課後を活用するなど…）
- △部活を活性化させ、元気のよい学校に盛り上げる。学力もアップしてくるはず。
- △職員間の連携。意思疎通。方向性の共通認識など、面倒でも多忙でも、ある程度の会議や話し合いは必要。
- △とにかく職員の元気・バイタリティーが必要。
- △生徒の多様化（学習レベル・発達障害等）に振り回されて、職員が多忙化している。
- △全体を広く見渡すことができる生指のような分掌（担任以外で）をつくり、情報と対応を一元化するとよい。
- △職員会議規模ではなく、係会規模の会を確実に開き、もっと活発な議論や情報共有をするべき。